

平成28年度 指導方針  
弓道教本及び副読本に基づいた基本の徹底

## 指導者の心得(地区指導者講習会及び指導者育成講習会)

- 1、日本弓道の指導者として、自ら至誠と礼節を体現し真善美を目指すこと。
- 2、指導者の持つ影響力を自覚し、自身の言動の倫理性について常に注意を払うこと。
- 3、指導に当たっては自らが実践躬行じっせんきゆうこうすること。
- 4、指導に当たっては弓道教本及び副読本に基づき全国的に統一された指導を行うこと。

## 指導項目(地区指導者講習会及び指導者育成講習会)

- 1、基本体及び射法・射技の基本(以下の事項)
  - (1) 正しい歩き方の指導  
射場ないではなるべく足の裏が見えないように腰を軸にして歩く  
右に方向(直角・斜めに)を変える場合は左足の踵から右足が出る  
左に方向(直角・斜めに)を変える場合は右足の踵から左足が出る
  - (2) 跪坐及び開き足の指導
  - (3) 胴造りの際、弓の本弭は左膝頭におく
  - (4) 正しい「的のねらい」の確認
  - (5) 正しい「矢束を引き収め」の確認
  - (6) 離れで弓の握りが落ちる(下がる)のを少なくする
- 2、矢羽の取り扱いと矢羽の使用に関する準則の徹底を図る
- 3、あらゆる暴力やハラスメントの根絶を図る
- 4、弓礼弓法問答集の改訂箇所説明
- 5、弓道競技規則の改訂について周知を図る
- 6、審査規程の改定について周知を図る
- 7、アンチ・ドーピングについて